



# 道徳だより

2025.11.26号  
みよし市立緑丘小学校



## 2年生「やくそく」(内容項目D 生命の尊さ)

### ねらい

自分の命は、自分だけのものではなく、多くの人の思いを受けていることに気付き、かけがえのない命を大切にしていこうとする心情を育てる。

### 授業の様子

めあてを「どんな思いで自分と約束したのだろう」として子どもたちに提示しました。自分の命について「大切である」「たった一つしかない」

「なくなったら元に戻らない」などさまざまな考えをもっている子どもたちに【多くの人の思いを受けている】ことに気付いてほしいと考え、今回の授業に取り組みました。フェスタでは、それまでの学習で、多くの地域の方々にたくさんのこと教えていただき、学びを広げてきた2年生。今回の道徳で「いのち」についての考え方の幅を広げてもらいたいです。



#### 教材名「やくそく」の概要

友達の家で遊んだ帰り道。信号が青になる少し前に、前だけを見て、走り出した。いきなり車がカーブってきて、車に当たって倒れてしまった。あわてて降りてきた運転手さんが、「大丈夫ですか」と言って救急車を呼んだ。心臓がどきどきし、足がぎこちない。

病院では、お母さんが涙をぽろぽろ流していた。そばで、弟も泣いていた。お父さんは私の手を握って「これくらいのけがでよかった」と言った。担任の先生も来てくれた。病院の先生が「頭には異常はありません。足の手当てをしておきました。念のため一日入院してもらいます」とおっしゃった。これからは絶対に事故に遭わないようにしようと思った。自分との約束だ。

教材の提示は、動画を使って行いました。動画を観ることで、より理解しやすくなりました。内容を確認しながら、主人公である「わたし」について「わたしは命を守るためにどんなことをしていたか」問うと「信号をよく見る」「左右をしっかり見る」「車が来ないかよく確認する」などの意見が出されました。発表を聴いている周りの子たちが、「へえ」「なるほど」と友達の意見に対して反応しているところがよかったです。次に「処置を終えたわたしの周りにいる人たちの気持ちについて」考え合いました。ここでは挿絵の表情をよく見て考えました。まずは、泣いている人について問うと「心配だった」「生きていてよかった」「大きなかがでなくよかった」「もし死んでいたら…」などの意見が出されました。続いて微笑んでいる人について「軽いけがですんでよかった」「安心した」「気持ちがホッとして笑っている」と答えていました。最後に、主人公がした「自分との約束」について考えました。「痛い目を見ないようにしっかり気を付けよう」「自分も家族も心配しないようにしよう」「自分の命は自分で守ろう」「このことをきっかけに命を大切にしよう」と答えていました。自分の大切な命を守るのは、自分であること改めて考える時間になりました。

